

「親の学習」プログラム

2-2

子供の育ち・子供の目線で見よう

私たちは、大人の目線で生活しています。ところが、世の中にはさまざまな目線でさまざまな世代が共生して暮らしています。子供の目線にワープ。そのまま身の回りの世界を見てみましょう。いろいろな発見があるはずです。おもしろそうなこと、不思議なこと、怖いこと、それから危ないことなど…。

ワーク
1

つぎの資料を見て、気づいたことをメモしてみましょう。

発達 の 目 安	誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
		首がすわる 足をバタバタさせる		離乳食を始める	寝返りをうつ	一人座り	ハイハイをする		つかまり立ち 指で物をつかむ		一人歩き 走る	階段を登り降りする その場でジャンプ 高い所へ登れる				
主 な 起 こ り や す い 事 故	＜就寝時の窒息事故＞ ・うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる ・家族の身体の一部で圧迫される ・掛布団、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイなどで窒息 ・ベッドと壁の隙間などに挟まれる ・家族の身体の一部で圧迫される ・ミルクの吐き戻しによる窒息 4ページ															
	・食事中に食べ物で窒息 ・おもちゃなど小さな物で窒息 ・ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲 ・医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲 ・包装フィルム、シール などの誤飲 ・たばこ、お酒などの誤飲 5ページ															
	・ブラインドやカーテンのひも、洗濯機への 閉じ込めなどによる窒息 4ページ															
	・大人用ベッドやソファからの転落 ・ベビーベッドやおむつ替えの台からの転落 ・抱っこひも使用時の転落 ・ベビーカーからの転落 6ページ															
	・椅子やテーブルからの転落 ・階段からの転落、段差での転倒 6ページ															
車・自転車関連の事故	・ベランダなどからの転落 ・窓や出窓からの転落 6ページ															
	・ショッピングカートからの転落 ・遊具(すべり台、ジャングルジム、ブランコなど)からの転落 ・ペダルなし二輪遊具、キックスクーター等での転倒 7ページ															
	・チャイルドシート未使用または誤使用による事故 ・車内での熱中症 8ページ															
	・車のドアやパワーウィンドウに挟まれる事故 ・子ども乗せ自転車での転倒 ・自転車に乗せた子どもの足が後輪に巻き込まれる、スポーク外傷 8ページ															
	・道路上などでの事故 ・機械式立体駐車場での挟まれ事故 9ページ															
水まわりの事故	・入浴時に溺れる 10ページ															
	・浴槽へ転落し溺れる ・洗濯機、バケツや 洗面器などによる事故 10ページ															
	・ビニールプールやプールなどでの事故 ・海や川での事故、ため池、用水路、排水溝、浄化槽での事故 10ページ															
やけど	・お茶、みそ汁、カップ麺などでのやけど ・電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど ・調理器具やアイロンでのやけど 11ページ															
	・暖房器具や加湿器でのやけど ・ライター、花火によるやけど 11ページ															
挟む・切る・その他の事故	・エスカレーター、エレベーターでの事故・スマートフォン等の充電時に起きる事故 ・子どもの熱中症 13ページ															
	・テーブルなどの 家具で打撲 12ページ															
	・カミソリ、カッター、はさみなどの刃物やおもちゃでのけが ・小さな物を鼻や耳に入れる 12ページ															
	・キッチン付近の包丁、ナイフでのけが ・ドアや窓で手や指を挟む ・タンスなどの家具を倒して下敷きになる 12ページ															
	・転倒によりぶら下げていた水筒が 腹部にあたる事故 ・歯磨き中に歯ブラシでの喉突きなどの事故 13ページ															

こども家庭庁 事故防止ハンドブック（令和7年3月版）
ページの詳細は二次元コードからご覧になれます。



メモ1

メモ2

メモ3

メモ4

ワーク
2

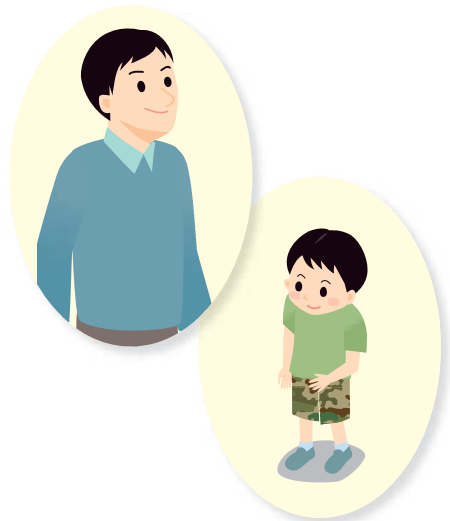
2人一組に分かれて、体験しましょう。ロールプレイで、保護者役と子供役と両方の目線の高さを体験します。
体験で気づいたことを書いておきましょう。



① 1歳児の身長75センチになって、目線を低くしてみましょう。どんなものが見えますか？



② 子供の身長のまま、大人を見るとどのように見えますか？



③ 大人の身長で、子供を見ると、どのように見えますか？

ふりかえり

①ロールプレイをとおして、何か気づいたことがありましたか。

②ロールプレイを一緒にした相手と話し合ってみましょう。気づいたことはありますか？

資料

「わくわく・ドキドキ」が成長の証し

みなさんは、高さ75センチの世界から、何が見えましたか？ なんだか不思議な世界でしょう？

見慣れない風景に、もっと見たいなと思いませんか？

「見慣れない物」、「めずらしいもの」に子供は魅力を感じると言われています。（大人ももちろん同じですが。）赤ちゃん実験で、見慣れないものに赤ちゃんがより注目するという研究結果も報告されています。

見慣れないものを見ると、「もっともっと」を言うのが子供です。

おもしろいもの、わくわく・ドキドキするものへの飽くことない探求が子供の世界のおもしろさです。

そのために、大人にしてほしいこと！

「一緒に楽しむこと」です。そして大人の予想をこえたチャレンジもしますので、「目を離さないようにすること」です。

つまり、子供の成長には、

子供の目線から、子供の成長を、わくわく・ドキドキしながら支えてくれる大人の存在が、大切になります。



資料

歩きタバコの危険！

大人の目線の高さに慣れて生活していることで起きる危険もあります。大人が歩きタバコで手にもっているタバコの火は、実は持ち歩いている幼児の顔の高さにあたります。実際に事故が報告されています。耳をやけどさせられた、ほおをやけどさせられたなど、1件、2件ではありません。

子供が自分でこの危険を回避することは難しいもの。大人自身が、子供が育つ環境に配慮することが必要ですね。

目の高さだけでなく、「相手の立場に優しくなる」というのが、共生社会への第一歩なのかもしれませんね。

東京都消防庁
政府広報オンライン

事故・発生事故 家庭・子育て

2025年12月1日

ご注意ください！窓やベランダからのこどもの転落事故

子どもの事故 予防・発生防止



資料

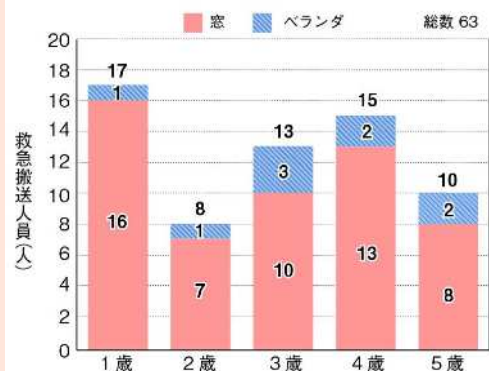
子供の転落事故は、一人で歩きはじめる1歳から2歳から増え始め、3歳から4歳で最も多くなっています。

3歳から4歳の頃は、好奇心や自我が芽生え、興味本位で何でもしたり、走ったり登ったり活発な動きができるようになりますが、まだ危険かどうかを判断することが難しく注意が必要です。

また、こどもが窓枠や出窓に座って遊んでいるときに網戸が外れて転落、ベランダで遊んでいるときに置いてあった物を足場にして手すりを乗り越えて転落、保護者が1階にいるときにこどもが2階から転落など、こどもだけで遊んでいるときに多く発生しています。

政府広報オンライン「ご注意ください！窓やベランダからのこどもの転落事故」を加工して作成
(右グラフは、令和2年から令和6年までの東京消防庁管内で発生した事故の累計データです。)

グラフ：転落事故の年齢別・場所別比較



窓やベランダ^(注)からの転落事故における年齢別の救急搬送件数 (n=63)